

四半期報告書

(第74期第2四半期)

自 2019年7月1日

至 2019年9月30日

株式会社 サンユウ

(E01296)

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2

第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
3 経営上の重要な契約等	3

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(5) 大株主の状況	5
(6) 議決権の状況	5

2 役員の状況	6
---------	---

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12

2 その他	14
-------	----

第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2019年11月14日
【四半期会計期間】	第74期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社サンユウ
【英訳名】	SANYU CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西野 淳二
【本店の所在の場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役上席執行役員財務部長 加藤 和彦
【最寄りの連絡場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役上席執行役員財務部長 加藤 和彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第73期 第2四半期 連結累計期間	第74期 第2四半期 連結累計期間	第73期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	9,120,911	10,564,214	19,596,355
経常利益 (千円)	279,681	318,893	699,445
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 (千円)	190,083	174,161	420,839
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	191,876	201,477	465,657
純資産額 (千円)	7,799,630	8,663,855	8,823,980
総資産額 (千円)	14,422,101	17,109,839	18,630,055
1株当たり四半期（当期）純利益 (円)	31.45	28.81	69.62
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	54.1	47.3	43.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	441,993	△127,910	809,649
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△160,856	△199,972	△393,604
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△273,016	△575,922	675,003
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高 (千円)	1,101,237	1,280,359	2,184,165

回次	第73期 第2四半期 連結会計期間	第74期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	9.68	8.15

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税及び地方消費税（以下「消費税等」という。）は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当社グループのセグメントはみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一事業であります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は小康状態を保ちましたが、米中貿易摩擦の長期化、中国経済の減速及び英国のEU離脱問題などがあり、先行き不透明な状況が続きました。

わが国のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界の主要需要家である自動車業界の生産活動では、消費税増税前の駆け込み需要等もあり前年を上回る国内生産台数を確保しましたが、他方で建産機業界は低調な状況が継続いたしました。

このような経営環境下、当社は2018年11月5日に子会社化した大阪ミガキ株式会社の株式を連結経営の深化に資するべく2019年5月16日に追加取得（15.5%、累計67.5%）すると共に、当社グループは全社を挙げて収益の確保に取り組みました。

販売面では、既存の顧客に対するきめ細やかな営業活動に加え、新規取引先・案件の開拓に努力し販売数量の拡大に努めた結果、販売数量は65千トンとなり、売上高は10,564百万円（前年同四半期比15.8%増）となりました。

損益につきましては、販売数量の拡大による売上総利益の増加及び経費の増加抑制に努めた結果、営業利益は301百万円（前年同四半期比13.4%増）、経常利益は318百万円（前年同四半期比14.0%増）となりましたが、税負担の差により親会社株主に帰属する四半期純利益は174百万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。

事業部門ごとの業績は、次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、販売数量は40千トン、売上高は7,007百万円（前年同四半期比26.7%増）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、販売数量は25千トン、売上高は3,556百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は17,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,520百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が903百万円、受取手形及び売掛金が384百万円、有形固定資産が130百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は8,445百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,360百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,068百万円、短期借入金が110百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は8,663百万円となり、前連結会計年度末に比べ160百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が86百万円増加しましたが、非支配株主持分が231百万円減少したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,280百万円となり、前連結会計年度末に比べ903百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は127百万円（前年同四半期は441百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益317百万円や減価償却費283百万円、売上債権の減少433百万円により資金が増加しましたが、仕入債務の減少886百万円やたな卸資産の増加148百万円、法人税等の支払額144百万円により資金を使用したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は199百万円（前年同四半期比39百万円の使用増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得193百万円により資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は575百万円（前年同四半期比302百万円の使用増）となりました。これは主に、短期借入金の返済110百万円や子会社株式の取得270百万円、配当金の支払90百万円により資金が減少したことによるものであります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数 (株)
普 通 株 式	19,344,000
計	19,344,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,091,000	6,091,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	6,091,000	6,091,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年 月 日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	—	6,091	—	1,513,687	—	1,317,207

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
日本製鉄株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目6番1号	2,035	33.67
株式会社メタルワン	東京都千代田区丸の内2丁目7番2号	315	5.21
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	東京都中央区日本橋1丁目4番1号	295	4.88
村岡克彦	滋賀県大津市	274	4.53
日鉄物産株式会社	東京都港区赤坂8丁目5番27号	250	4.14
永田麻里	横浜市都筑区	187	3.10
佐藤商事株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目8番1号	180	2.98
サンユウ従業員持株会	大阪府枚方市春日北町3丁目1番1号	166	2.76
柏木伸夫	大阪府吹田市	135	2.25
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2丁目2番1号	110	1.82
計	—	3,949	65.34

(注) 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 46,400	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,042,700	60,427	—
単元未満株式	普通株式 1,900	—	—
発行済株式総数	6,091,000	—	—
総株主の議決権	—	60,427	—

② 【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社サンユウ	大阪府枚方市春日北町 三丁目1番1号	46,400	—	46,400	0.76
計	—	46,400	—	46,400	0.76

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,184,165	1,280,359
受取手形及び売掛金	※1 5,012,113	4,627,740
電子記録債権	※1 992,825	943,880
商品及び製品	2,015,534	2,138,310
仕掛品	279,078	284,868
原材料及び貯蔵品	1,915,551	1,935,361
その他	224,336	41,263
貸倒引当金	△42,976	△41,742
流動資産合計	12,580,628	11,210,041
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,553,714	1,512,394
機械装置及び運搬具（純額）	2,082,925	2,005,469
土地	1,734,832	1,734,832
リース資産（純額）	91,575	87,028
建設仮勘定	2,000	2,000
その他（純額）	109,629	102,851
有形固定資産合計	5,574,677	5,444,576
無形固定資産		
のれん	92,020	82,334
その他	107,298	97,640
無形固定資産合計	199,319	179,974
投資その他の資産		
投資有価証券	73,714	72,547
出資金	70,110	70,110
長期貸付金	10,858	10,116
繰延税金資産	92,097	85,272
その他	28,649	37,201
投資その他の資産合計	275,430	275,247
固定資産合計	6,049,427	5,899,798
資産合計	18,630,055	17,109,839

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※1 5,667,627	4,599,350
短期借入金	1,364,000	1,254,000
1年内返済予定の長期借入金	517,948	430,802
リース債務	31,229	33,653
未払法人税等	168,825	137,382
賞与引当金	205,825	207,439
その他	481,206	441,601
流動負債合計	8,436,662	7,104,228
固定負債		
長期借入金	1,076,908	1,073,181
リース債務	68,194	59,534
繰延税金負債	78,908	64,969
退職給付に係る負債	78,468	79,604
役員退職慰労引当金	2,500	—
資産除去債務	64,074	64,104
その他	360	360
固定負債合計	1,369,413	1,341,754
負債合計	9,806,075	8,445,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,513,687	1,513,687
資本剰余金	1,318,057	1,303,508
利益剰余金	5,214,468	5,300,477
自己株式	△21,392	△21,392
株主資本合計	8,024,820	8,096,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,159	3,608
その他の包括利益累計額合計	4,159	3,608
非支配株主持分	795,000	563,966
純資産合計	8,823,980	8,663,855
負債純資産合計	18,630,055	17,109,839

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	9,120,911	10,564,214
売上原価	7,908,069	9,067,350
売上総利益	1,212,842	1,496,863
販売費及び一般管理費		
運搬費	277,120	309,518
給料及び手当	243,299	317,170
賞与引当金繰入額	64,597	92,683
退職給付費用	7,278	15,757
減価償却費	42,179	59,043
のれん償却額	—	9,686
その他	312,699	391,618
販売費及び一般管理費合計	947,174	1,195,477
営業利益	265,667	301,386
営業外収益		
受取利息	187	123
受取配当金	18,125	10,730
受取賃貸料	16,792	24,918
その他	3,379	7,370
営業外収益合計	38,484	43,143
営業外費用		
支払利息	2,098	3,987
賃貸費用	6,544	9,600
支払手数料	14,074	9,606
その他	1,752	2,442
営業外費用合計	24,470	25,636
経常利益	279,681	318,893
特別利益		
固定資産売却益	820	19
特別利益合計	820	19
特別損失		
固定資産売却損	4,147	811
固定資産除却損	2,239	788
特別損失合計	6,386	1,600
税金等調整前四半期純利益	274,115	317,313
法人税、住民税及び事業税	47,299	121,630
法人税等調整額	36,732	△6,652
法人税等合計	84,031	114,978
四半期純利益	190,083	202,334
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	28,173
親会社株主に帰属する四半期純利益	190,083	174,161

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	190,083	202,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,792	△857
その他の包括利益合計	1,792	△857
四半期包括利益	191,876	201,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,876	173,605
非支配株主に係る四半期包括利益	—	27,872

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	274,115	317,313
減価償却費	225,256	283,817
のれん償却額	—	9,686
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17,347	1,136
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△2,500
受取利息及び受取配当金	△18,312	△10,854
支払利息	2,098	3,987
有形固定資産売却損益 (△は益)	3,326	791
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,529	433,317
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△59,276	△148,376
仕入債務の増減額 (△は減少)	63,401	△886,711
その他の負債の増減額 (△は減少)	11,364	19,170
その他	△8,748	△11,041
小計	469,348	9,735
利息及び配当金の受取額	18,371	10,864
利息の支払額	△2,002	△4,155
法人税等の支払額	△43,723	△144,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	441,993	△127,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△191,532	△193,446
無形固定資産の取得による支出	△14,750	△7,278
有形固定資産の売却による収入	1,555	20
貸付けによる支出	△240	△800
貸付金の回収による収入	44,112	1,532
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160,856	△199,972
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△110,000
長期借入れによる収入	—	180,000
長期借入金の返済による支出	△210,000	△270,873
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,784	△13,629
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△270,934
配当金の支払額	△54,231	△90,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	△273,016	△575,922
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,120	△903,805
現金及び現金同等物の期首残高	1,093,117	2,184,165
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 1,101,237	※1 1,280,359

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権

四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権の会計処理については、前連結会計年度末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。前連結会計年度末日満期手形及び電子記録債権の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	294,448千円	—千円
電子記録債権	75,418	—
支払手形	44,975	—

2 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
出資先(借入債務)	47,477千円	52,465千円
	(USD 427,766)	(USD 486,155)

(注) 外貨建保証債務は、各決算日の為替相場により円換算しています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	1,101,237千円	1,280,359千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	—
現金及び現金同等物	1,101,237	1,280,359

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	54,400	利益剰余金	9	2018年 3月31日	2018年 6月29日

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	90,667	利益剰余金	15	2019年 3月31日	2019年 6月28日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

当社グループは、みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	31円45銭	28円81銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	190,083	174,161
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益(千円)	190,083	174,161
普通株式の期中平均株式数(株)	6,044,450	6,044,504

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

株式会社サンユウ

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中畑 孝英	印
--------------------	-------	-------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	堀 重樹	印
--------------------	-------	------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンユウの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンユウ及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。